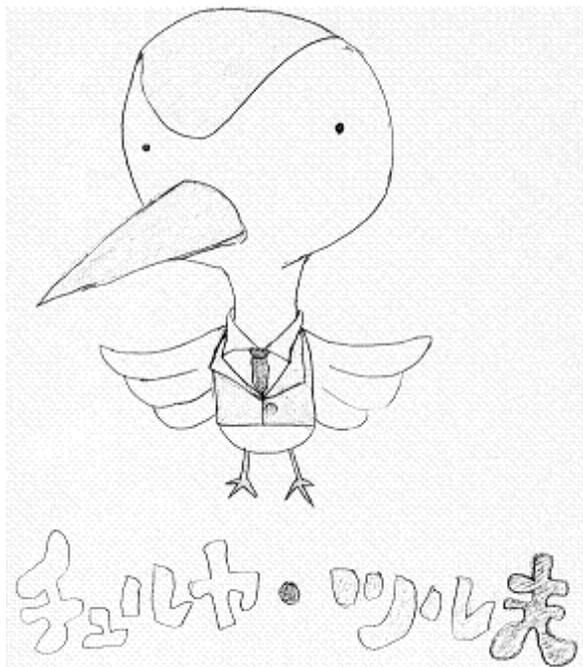


仕事を通して感じたこと

今回は、群馬県若者就職支援センター、愛称「ジョブカフェぐんま」に勤務する若いスタッフの言葉です。「ジョブカフェぐんま」は群馬県が設置し、仕事に関する様々なサービスを一箇所ですべて受けられるように整備された若者のための就職支援センターです。職業情報の提供からカウンセリング、職業紹介まで「仕事探し」を完全サポートしています。県内に、高崎、沼田、桐生の3センターがあります。

吉田絵美（今年4月まで勤務）

群馬県若者就職支援センターでは若者の就職相談の他に、セミナーや合同企業説明会も実施しています。私の仕事はセミナーや合同企業説明会開催のための準備、県内公立高校の生徒・保護者向けセミナーの日程調整などの裏方です。



私がこの仕事に携わるようになって、1年が経ちます。5年間勤めた会社を退職してから7か月間、何も仕事をしませんでした。最初はこんな生活がずっと続いたらどんなにいいかと思っていましたが、時間が経つにつれてそんな生活が苦になり働きたくてしょうがなくなりました。就職支援センターに相談に訪れ、担当相談員の

方にこんな仕事やってみない？と声をかけて頂いたのが縁で、今ここで働いています。

今まで26年生きてきた中で一番中身の詰まった1年だったと感じます。仕事を通じ新しい経験をしたことで、感じたことや考えたことが多くありました。

合同企業説明会を開催したときのこと、開催時刻になっても担当者が来ていない企業がありました。慌てて企業に電話をすると、担当者は休暇を取っているとのことでした。もう説明会は始まっているし、その企業の話が聞きたくてブースの椅子に座って待っている求職者の方が幾人もいました。本当に頭にきました。待っている方になって説明したらいいのだろう、本当のことを知ったらどんな気持ちになるだろうと考えると胸が痛みました。結局、別の担当者が終了時刻の少し前に見えてわずかな時間ですが説明をしていました。求職者と企業との温度差を感じずにはいられませんでした。希望を持って仕事を探している方に残念な思いをさせてしまったのと、担当ではないから分からないと言ってしまふ企業の対応が残念でした。自分のことばかりでなく、もっと人を大切に想ってほしいと感じます。

仕事は、職種を問わず複数人が関わらない

と成り立たないのでコミュニケーションがうまく取れなければ仕事が成り立たないのではないかと思います。この1年で、社内はもちろん社外の方や来所される方とのコミュニケーションがいかに重要か考えることが多かったように思います。前職では事務職を5年勤めていました。私にとって仕事はお金を稼ぐための手段という意識が強かったのですが、今の仕事を経験できたことで人と関わる意味や喜びを考えるよい機会になりました。それに自分自身で気がつけたのも成長したところだと思います。

自分がどう思われているのか気になるけど、関わる人全員に好かれる事は出来ません。相手に気に入られようと変に気にしない事も大事だと知ったし、気に病むだけ自分が疲れると分かりました。周りの事を気にする前に自分に与えられた仕事を一人前にできるようにする、そうして仕事をしていけば周りも自然と認めてくれます。

日々の業務の中でどれだけのことを吸収できるかを考えながら過ごすようになって、お金の為だけに働いていたことになんともったいない時間の遣い方をしていたのだらうと思うのです。



JobCafe だるまちゃん

高橋 舞

はじめまして。ジョブカフェの高橋舞と申します。私は昨年の6月に東京の会社を退職して、今年の4月より群馬県若者就職支援センターの高崎センターに勤務しています。

そして、この3月に高校を卒業したばかりで未就職だった13名の方の就職支援をしています。この13名は今、群馬県の臨時職員として働いているのですが、より安定した職に就くために、職業意識を高めるためのセミナーを受けています。私もセミナーに同席し、受講者の前で前職の経験や大変だったことなどを話したり、名刺交換や電話対応などの実習を一緒にしています。アンケートには、「他の人の意見が聞けてよかった、新しい発見ができた」「今後の仕事で活用していきたい」等の感想が寄せられます。

一生懸命にセミナーを受けている彼らの姿を見ていると、私も襟を正さないといけないなという気持ちになります。私自身、セミナーを通して今までの体験をふり返ることが多くなり、自分が会社でどんな対応をしていたか、社会人としてのマナーを改めて考える機会となりました。

ジョブカフェでもセミナーを実施しております。セミナーを受けて、他の参加者の意見を聞くことも良い刺激になると思います。若い皆さんの参加をお待ちしております。

ジョブカフェの連絡先

027-330-4510(高崎センター)

(カットは、ジョブカフェを利用している若者たちが作成したイメージキャラクター)